

科目名	プロジェクトワーク 6							年度	2025
英語科目名	Project work 6							学期	前期
学科・学年	CG映像科 2 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	松永治空 他		教員の実務経験		有	実務経験の職種		アーティスト	
【科目の目的】									
2年生の基幹授業として成果物ポートフォリオとデモリールの制作を行う。アドミッションポリシーに含まれる専門的スキル、人間力、デザインの力を主軸にチームワークや助け合いを学び、技術と人間力の双方の能力を育むことを目的としている。また、プロジェクトを通し計画性やタスク管理、締め切りを設定し守っていく中で社会人としてのスキルを身に付けることを目標とし、対外的に会社訪問を行うことで社会的立ち位置を理解する。									
【科目の概要】									
ポートフォリオ制作、デモリール制作において基準となる「基礎」「応用」「実践」の3種類の課題と成果物の性質を理解し、各自の技術的力量がどのレベルなのか、理解し作品制作に取り組む。第一段階として全員が「基礎」レベルの課題をポートフォリオまたはデモリールに入れる。また、グループ制作を通し専門的スキルを身に付け、進捗や締め切りの管理と運営を行う。									
【到達目標】									
ポートフォリオとデモリールの第一段階としての成果物の完成。チームワークとタスク、スケジュールの理解。									
【授業の注意点】									
授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
計画表	計画表 「応用」レベル の課題を達成		計画表 「基礎」レベル の課題を達成		計画表 通り実行 できなかった				
自主性	自主性 「応用」レベル の課題を達成		自主性 「応用」レベル の課題を達成		計画表 通り実行 できなかった				
協調性	協調性 「応用」レベル の課題を達成		協調性 「応用」レベル の課題を達成		計画表 通り実行 できなかった				
チームワーク	チームワーク 「応用」レベル の課題を達成		チームワーク 「応用」レベル の課題を達成		計画表 通り実行 できなかった				
社会への理解	社会への理解 「応用」レベル の課題を達成		社会への理解 「応用」レベル の課題を達成		計画表 通り実行 できなかった				
【教科書】									
独自の教材を使用									

【参考資料】							
独自の教材を使用							
【成績の評価方法・評価基準】							
試験・課題 80% 課題で評価する（提出の仕様や期限も評価の対象とする） 平常点 20% 授業参加態度によって評価を行う							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		プロジェクトワーク 6				年度	2025
英語表記		Project work 6				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	1年間の流れを知る	1	MIROの使い方	プロジェクトマネジメントの理解	1	
			2	AIリテラシー	リサーチワークとリファレンス集めのリテラシー		
			3	年間計画表の理解	年間スケジュールの理解		
2	ハウス確定 アイスブレイク	チームを結成する	1	専門分野の決定	自分の専門分野を決定する	2	
			2	チーム結成	専門分野同士の仲間とチーム結成		
			3	アイスブレイク	新しい仲間を作る		
3	チームビルド	チーム スケジュールを 考える	1	MIROの使い方	プロジェクトマネジメントの適用	2	
			2	各自役割の理解	チームでの役割を決める		
			3	タスクの理解	自分のタスクと締め切りを考える		
4	チームビルド 2	チーム スケジュールを 考える 2	1	MIROの使い方	プロジェクトマネジメントの適用	2	
			2	各自役割の理解	チームでの役割を決める		
			3	タスクの理解	自分のタスクと締め切りを考える		
5	校外授業	チームワーク	1	メンバーを知る	メンバーの名前を知る	3	
			2	仲間を助ける	助け合い		
			3	チーム目標達成	遠足ミッションの達成		
6	企業アポ	社会科見学 訪問会社を知る	1	会社を知る	CGプロダクションを知る	2	
			2	質問を決める	プロダクションへの質問を決める		
			3	スケジュールを決める	訪問の段取り		
7	REEL及びPF フォーマット レクチャー	REEL及びPF フォーマット を知る	1	デモリール	デモリールのフォーマットを理解する	3	
			2	ポートフォリオ	ポートフォリオのフォーマットを理解する		
			3	フォーマット作成	フォーマットの作り方を知る		
8	「基礎」 「応用」 「実践」 の理解	REEL及びPF の内容 レベルを理解 する	1	「基礎」の理解	基礎課題とは何か理解する	2	
			2	「応用」の理解	応用課題とは何か理解する		
			3	「実践」の理解	実践レベルとは何か理解する		
9	企業アポ PF&REEL制作 1	企業アポ PF&REEL制作 1	1	PF制作	PFのための制作	1	
			2	REEL制作	REELのための制作		
			3	スケジュールを決める	訪問の段取り		
10	企業アポ PF&REEL制作 2	企業アポ PF&REEL制作 2	1	PF制作	PFのための制作	1	
			2	REEL制作	REELのための制作		
			3	スケジュールを決める	訪問の段取り		
11	企業アポ PF&REEL制作 3	企業アポ PF&REEL制作 3	1	PF制作	PFのための制作	1	
			2	REEL制作	REELのための制作		
			3	スケジュールを決める	訪問したプロダクションの報告発表		
	企業アポ	企業アポ	1	PF制作	PFのための制作		

12	PF&REEL制作 4	PF&REEL制作 4	2	REEL制作	REELのための制作	1	
			3	スケジュールを決める	訪問したプロダクションの報告発表		
13	企業アポ PF&REEL制作 5	企業アポ PF&REEL制作 5	1	PF制作	PFのための制作	1	
			2	REEL制作	REELのための制作		
			3	スケジュールを決める	訪問したプロダクションの報告発表		
14	前期発表	PF&REEL制作 進捗報告	1	PF制作	チームによる進捗発表	1	
			2	REEL制作	チームによる進捗発表		
			3	スケジュールを決める	訪問したプロダクションの報告発表		
15	後期 「応用」 「実践」 の理解	後期スケジュール と理解	1	PF制作	チームによる進捗発表	3	
			2	REEL制作	チームによる進捗発表		
			3	後期レクチャー	展示会へのスケジュール		
評価方法：1. グループ発表、2. 制作物とスケジュール管理の評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							